

校長室より

第43号

「天空高き」



平成25年1月17日

あらためて、新年明けましておめでとうございます



昨年の末に、私にとって大きな出来事が3つありました。うれしい出来事が2つ、悲しい出来事が1つです。

まず、うれしい出来事です。

1つ目は、岩国錦帯橋空港が12月13日に開港しました。2つ目は、平成21年より建設が進んでいた、岩国白蛇神社の新社殿が平成24年11月末に完成し、2013年か

ら新社殿での参拝が可能になりました。

なぜうれしいかというと、これら2つの新名所は、いずれも高水学園の卒業生が関係しているからです。

岩国錦帯橋空港開港は、空港ビル株式会社の社長で、カシワバラ・コーポレーション社長でもある昭和43年卒の柏原伸二先輩が先導となって、ご尽力されました。また、初便の副操縦士は、平成12年卒の廣田君です。

また、白蛇神社の新社殿は、白蛇保存会の森橋会長が寄付を集められて、建設されましたが、その森橋会長は、昭和34年卒の本学園の同窓会長です。

是非、一度これら2つの新名所に足を運んで貰いたいと思います。

悲しい出来事は、私の恩師である 山本眞喜雄元校長先生が12月の暮れに亡くなられたことです。

山本眞喜雄校長先生は学園理事で、私の4代前の校長先生でした。

12月19日に肺炎で亡くなられました。病院に入院され治療を受けておりましたが、呼吸困難のため酸素吸入マスクをされていました。亡くなられる前に、そのマス

クを取られて、家族を前に、一言「面白い」と伝えられ、旅だって行かれました。死の恐怖と闘いながらも、未知なる体験（^{そうつこう}遭遇）に、「面白い」と表現されたことは、本当にすごいことで、^{いけい}畏敬の念を持たずにはおれませんでした。こんな素晴らしい恩師がいつも傍らにおられたのに、その偉大さに気付くのがあまりに遅く、もっと多くのことをご教授願おうにも……。山本先生のご冥福をお祈りいたします。

高校3年生のみなさん、センター試験を直前に控え、精神的プレッシャーが日々大きくなっていると思います。最後の最後まで、最善を尽くしてください。試験会場に着いたら、センター試験自体を、「面白い」と言えるよう楽しんでください。

進路の決まった人たちは、4月からの新しい世界に備え、しっかりと体と心の準備をしてください。高校・中学2年生のみなさんは、4月には最上級生になります。3年生という未知なる世界を楽しむために、この3学期を準備期間として、授業に、クラブ活動に全力投球して下さい。

高校・中学1年生のみなさんは、4月から先輩と呼ばれるにふさわしい中身を備える準備をしてください。

1月は行って、2月は逃げて、3月は去る、と言われています。私も短い3学期を、面白くなるように前向きに取り組んでいきたいと思います。

「元気、やる気、本気、」で、お互いに、学び、学び合う、面白い学園にして行きましょう。

へび みとし 巳・巳年

意味は、十二支^しの6番目。

巳の方位は南東

巳の刻は午前10時およびその前後2時間。

巳年とは西暦年を12で割った際、余りが9となる年を「へびとし」といいます。



岩国シロヘビ神社

悲しい話しは夜するな。どんなつらい話しも、昼したらたいしたことはない。

おさのばあちゃん （島田洋七「佐賀のがばいばあちゃん」）

巳と蛇について

「巳」(み)という字は、本来は(し)と読みます。頭と体ができかけた胎児の形を表した象形文字です。子宮が胎児をつつむさまを表す、包の中と同じです。

十二支の「巳」は、植物に種子がではじめる時期と考えられています。「起こる、始まる、定まる」などの意味があります。

これを「ヘビ」としたのは、十二支を庶民に浸透^{しんとう}させるため、動物を当てはめたそうです。

(参考文献：語源由来辞典)

いじめられている君へ

広い海へ出てみよう

東京海洋大客員助教授・さかなクン



中1のとき、吹奏楽部で一緒だった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。いばっていた先輩(せんぱい)が3年になったとたん、無視されたこともありました。突然のことで、わけはわかりませんでした。

でも、さかなの世界と似ていました。たとえばメジナは海の中で仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽(すいそう)に一緒に入れたら、1匹を仲間はずれにして攻撃(こうげき)し始めたのです。けがしてかわいそうで、そのさかなを別の水槽に入れました。すると残ったメジナは別の1匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出しても新たないじめっ子があらわれます。

広い海の中ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所にすみ、同じエサを食べる、同じ種類同士です。

中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」ときけませんでした。でも仲間はずれにされた子と、よくさかなつりに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした

表情になっていました。話をきいてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいてだけで安心できたのかもしれない。

ぼくは変わりものですが、大自然のなか、さかなに夢中になっていたらいやなことも忘れます。大切な友だちができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んでいたとしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのにもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。

（朝日新聞2006年12月2日掲載）

じぶん

高橋新吉

じぶんがすっぽりとじぶんからぬけ出したならば

このような自己に執着しゅうちやくすることはなくなる

じぶんばかりだったらなんにもないことになる

他たがあつてはじめてじぶんがあるのだ

一般常識テスト(朝テスト)にチャレンジ!

久しぶりになりますが、昭和57年(1983年)に付属中学1年生～3年生、200名に実施された一般常識テストです。昨年亡くなられた第2代山本真喜雄校長先生が作成されました。上位は96点が8名。92点が34名でした。当時在籍していた保護者の方が多数おられます。家族でチャレンジしてみてください。

58.1.17

次の各文の下線部の読みかたをひらがなで答えよ。(16回新聞より)

- 矛盾¹感じ²つ試練³の春、解答方式見直し⁴を(共通一次)
- 新日鉄釜石が5連覇⁵、気迫⁶のFW、同大圧倒⁷、終始先手⁸で反撃を断つ⁹ ○鮮やか¹⁰松尾、多彩¹¹な攻め、FWと一体¹²、絶妙¹³のさえ ○ロス大会へ調整回¹⁴る ○「準備整った¹⁵」と力説¹⁶
- 円安恐れ慎重居士¹⁷に、「公定歩合¹⁸」で日銀総裁¹⁹
- 核処理事業継続²⁰を確認²¹ ○エンジン供給、トヨタに要請²²
- 氷河に転落²³、奇跡²⁴の生還²⁵ ○弔慰金返せとは殺生²⁶な

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

()年()組()番()